

令和6年能登半島地震 災害支援ナース活動報告

令和6年1月18日～1月21日

令和6年3月14日

県立十日町病院 大淵美保

派遣までの流れ

- 1月1日 16:10 発災 石川県能登半島 震度7
新潟県中越地方 震度6
十日町地域 震度5
- 1月3日 DMAT派遣要請あり、東3スタッフの勤務調整。
- 1月6日～9日 DMAT派遣 14:30帰還
- 1月9日 16:10 看護部長より災害支援ナースの派遣要請のメールが新潟県看護協会より来ていると報告を受ける。出勤できるかの意向確認。勤務表確認し、1/18～21なら出勤可能と判断し16:30 返答。週末に必要物品買い出し

災害支援ナースも
派遣要請がくるかな？

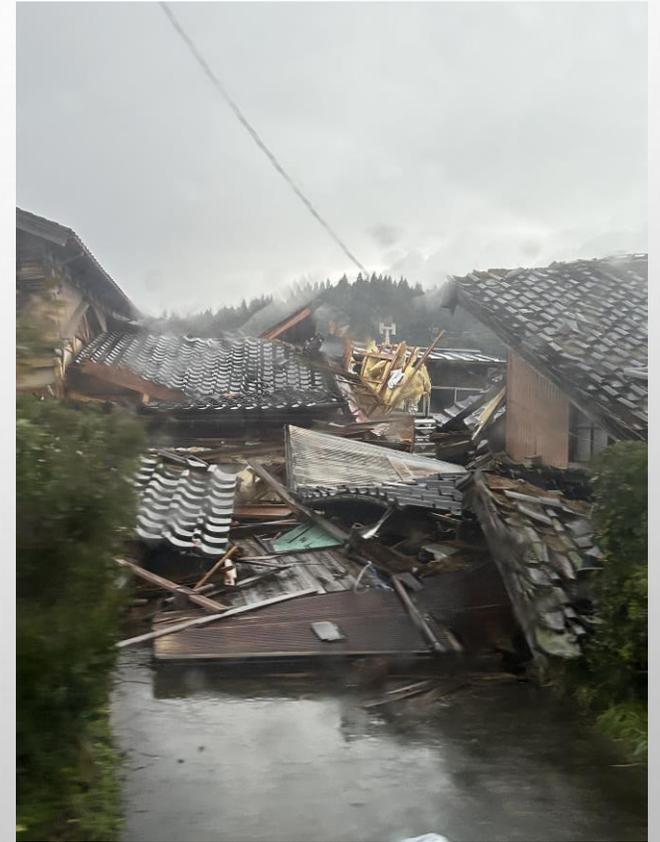
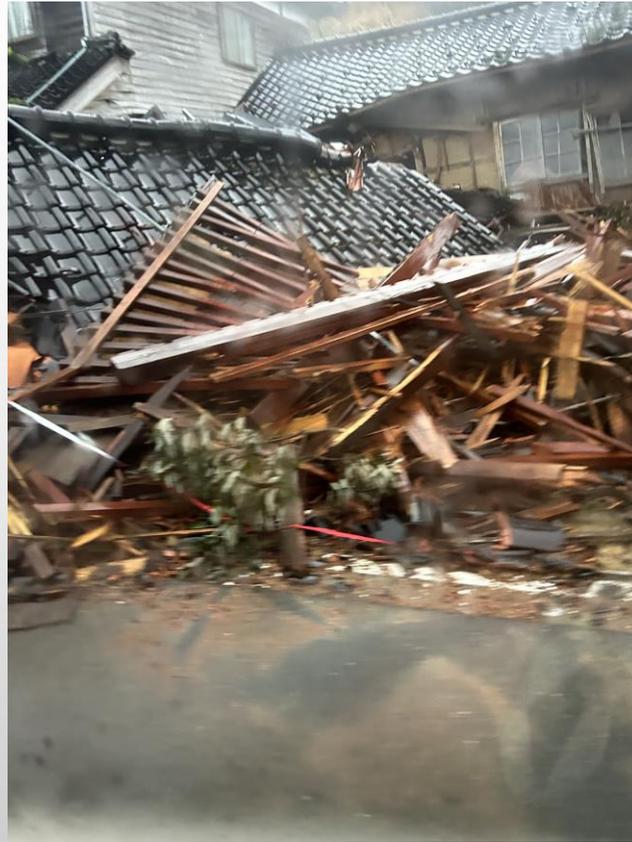
トイレが一番心配

活動1日目 1月18日(木)

- 8:30 前泊の宿 出発
- 9:15 石川県庁到着 救援物資運搬 東京チームの2名と合流
(リーダー決定)
- 10:00 活動場所 珠洲市正院小学校へ向けて出発
- 11:15 「最後のトイレです」のと里山海道のパーキングでトイレ休憩
マイクロバス車内で昼食



行きの車窓風景

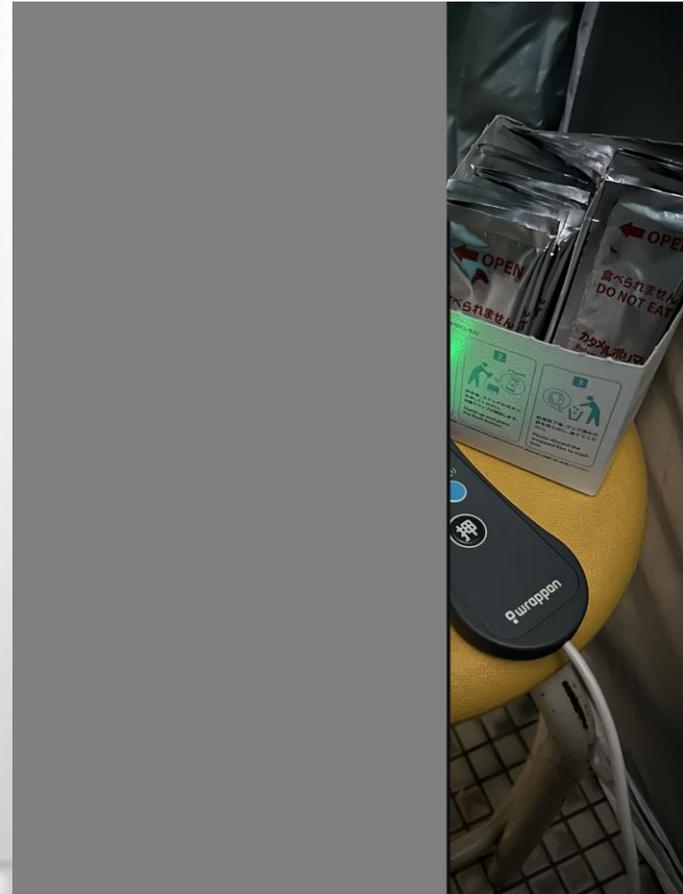
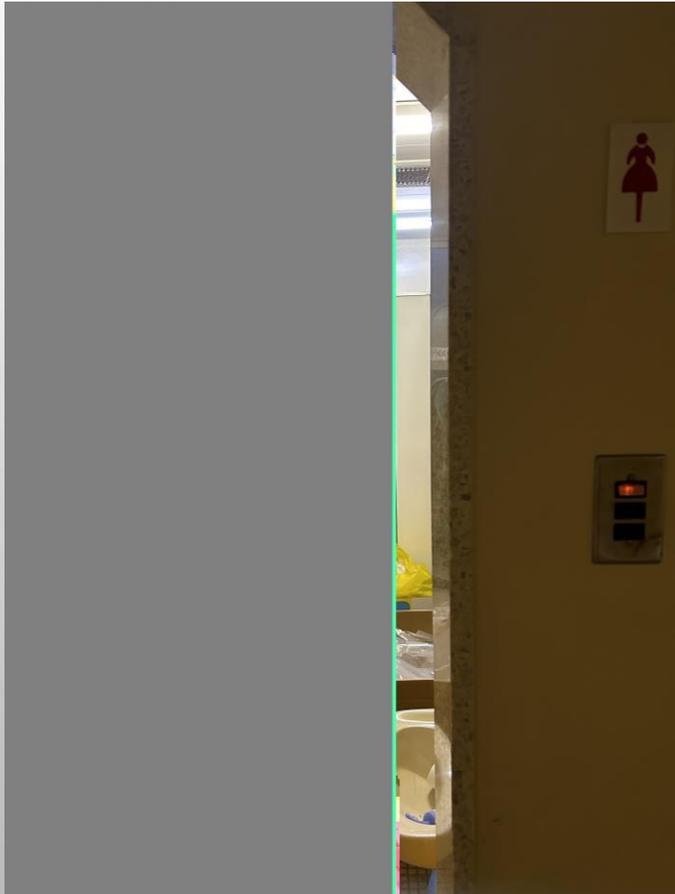


体育館の救援物資



福井県の県職員さんが物資管理

災害用トイレ



手洗い場



珠洲市正院小学校

- 発災直後は300人以上の方が避難⇒1月18日には120人
- コロナ感染者をランチルームで隔離⇒1月18日に隔離解除
- 胃腸炎症状者複数在り ⇒感染性胃腸炎を疑い次亜塩素酸ナトリウム溶液でトイレ清掃
(カレーによる食中毒様症状?)
- 海まで200M、津波時避難の裏山は土砂崩れ⇒津波来たら屋上へ避難?
- 小学校は3F教室で再開。
- ライフライン 電気○、上下水道×、ガス×

活動1日目 1月18日(木)

- 16:00 避難所内災害対策本部へ挨拶、先発隊からの申し送り
- 16:30 活動開始

避難所内視察、情報収集

避難者の健康観察

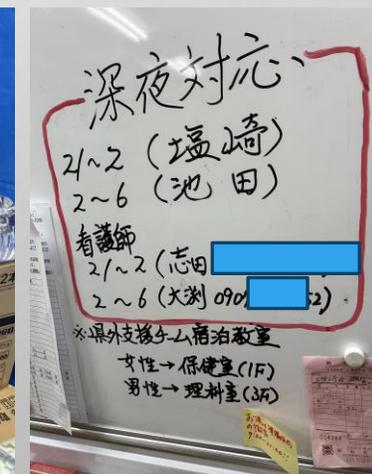
高血圧3名の血圧測定、各部屋へ挨拶

災害対策本部ミーティング毎日18時より参加

車中泊者へ声かけ

夜間対応はオンコール制で当番を決める

- 24:00 震度4余震あり 避難所内巡視



活動スケジュール（活動2日目、3日目）

- 6:00 起床
- 6:30 班員全員ミーティング 本日の行動計画
- 7:30 朝食
- 8:30 避難者健康チェック、避難所環境整備 等
- 12:30 昼食
- 13:30 避難者健康チェック、避難所環境整備 等
- 18:00 災害対策本部ミーティング
- 19:30 夕食
- 20:00 環境整備
- 20:30 班員全員ミーティング 本日の振り返りと翌日の行動計画
- 21:00 就寝 夜間は21:00～2:00、2:00～6:00 オンコール体制



実際の活動内容

情報共有と状況把握

本部ミーティング参加
PWJ(空飛ぶ捜索医療団)
避難所内外の視察

感染防止対策

次亜塩素酸によるナトリウム溶液によるトイレ掃除
歯磨きうがい箱の処理
各部屋の換気
食中毒予防の声かけ

避難者の健康管理と 健康増進活動 (災害関連死予防)

高血圧者の血圧測定
有症状者のコロナPCR検査や
市販薬投薬と医師診察
車中泊者への声かけ
内服薬の処方切れを医師に依頼
夜間のオンコール体制で対応

心のケア

避難者の話し相手
1.5次,2次避難の説明

避難所内外の環境整備

校舎内の飛散ガラス処理と補強
段ボールベッド作成

救援物資の管理

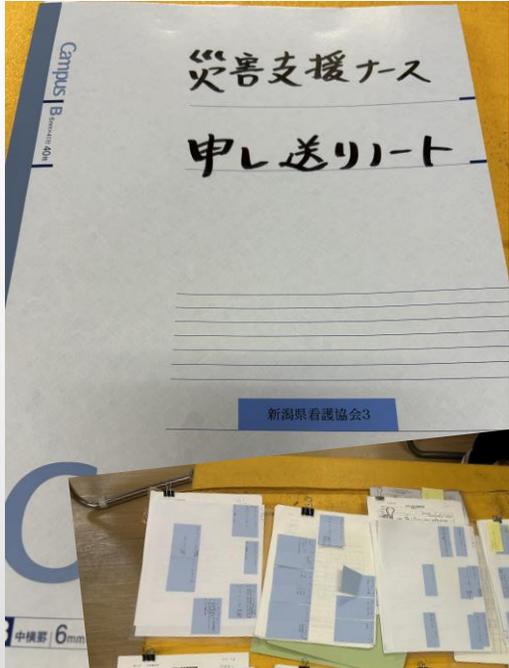
PPE、市販薬の数量把握と管理

情報共有

空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”
ピースウィンズジャパン(PWJ)



熊本保健師



情報共有 多職種連携



健康管理(災害関連死予防)



有症状者の観察



車中泊者に声かけ

避難所以外の自宅
避難者の内服処方
切れの対応



有症状者には看護師判断
で市販薬投薬や
コロナ抗原検査

健康維持活動



シルバーリハビリ体操
3級指導士

掲載するにあたりご本人様たちの
許可を得ています

感染防止対策

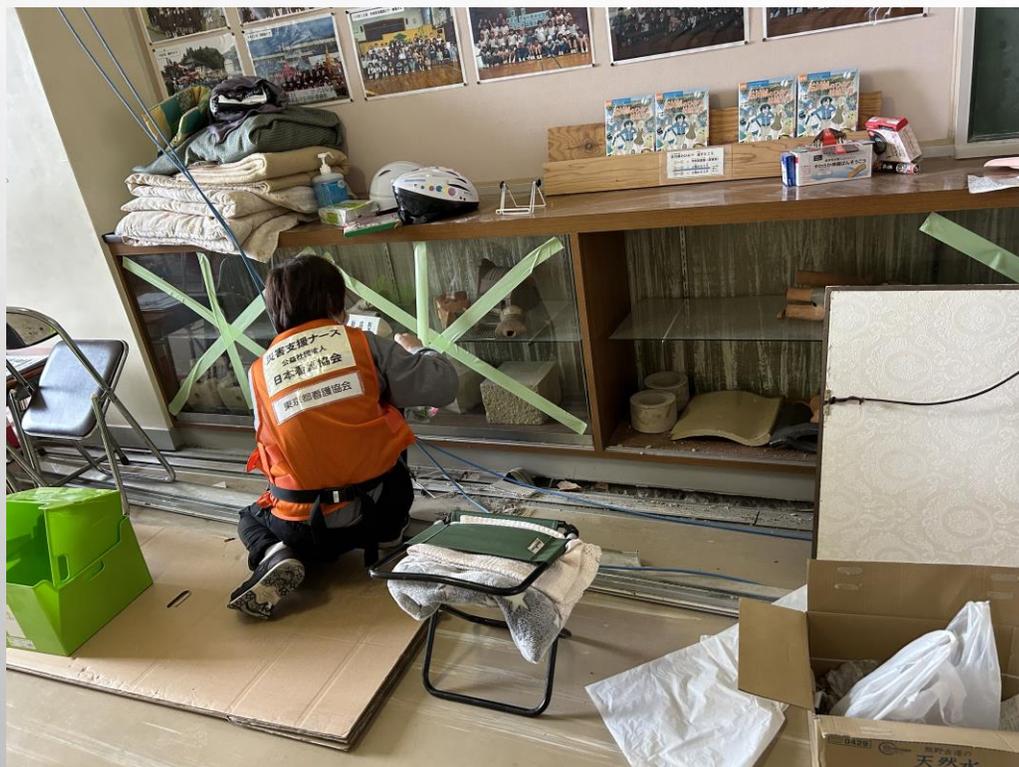


次亜塩素酸ナトリウム
溶液で清掃



歯磨きのうがい水を
ペット用シートで吸収

環境整備(二次被害防止)



飛散ガラスの処理と飛散防止

環境整備



段ボールベッドの作成

診察環境





正院ひなん所新聞 第7号 1月9日(木)

〈体調の悪い人はいませんか?〉
 1日巡回でお医者さんの
 診察をうけることができます。
 ○体調のよくない方
 ○薬がきえてきた方
 放送があるので、えんりせす、その場所
 に来て下さい。

〈感染症予防のため〉
 ・常にマスク
 ・手指の消毒

この紙
 ありがとう
 マスター様

〈本部のイトコナー設置〉
 ☆今週からお仕事に出勤される方
 朝食、昼食として、おにぎり、パン、
 カフェ、めん、スープ等、本部に用意し
 あるので、えんりせす、その場所
 に来て下さい。

正院ひなん所の
(1月9日現在) スケジュール

起床 6:30	朝 9:00
そよ 8:00~8:30	
朝食 10:00	昼 12:00
昼食 14:00	夜 16:00
夕食 19:00	夜 20:00
就寝 21:00	

※その日の内容
 実況中
 配信
 中止(お休み)

たす 助
 け 愛
 あい

今日の朝食
 白ごはん
 みそ汁
 スクランブル
 エッグ
 パナソ

今日の献立
 夕食は
 5時から

昼食 100食
 野菜 500g
 とうもろこし
 9食



1.5次避難と2次避難について

	1.5次避難	2次避難
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 健康面などでホテル・旅館での生活に不安のある方 生活に介助を必要とする方 	<ul style="list-style-type: none"> ホテル・旅館での自立した生活が可能な方 ご家族の介助によりホテル・旅館での生活が可能な方
移動方法	<p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: center;">バスで移動</p> <p>※バスでの移動が難しい方は、個別でご相談に応じます。</p> <p style="text-align: center;">1.5次避難所</p> <ul style="list-style-type: none"> いしかわ総合スポーツセンター 産業展示館2号館（金沢市） <p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: center;">※健康状態に応じて高齢者施設等にご案内します</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>・移動手段がない</p> <p>・集落でまとまって移動したい</p> <p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: center;">バスで移動</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>自家用車で移動できる</p> <p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: center;">自家用車で移動</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">2次避難所</p> <p style="text-align: center;">（ホテル・旅館）</p> <p style="text-align: center;"></p>
問合せ先	<p>珠洲市福祉課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・080-7392-7699 ・080-7110-6551 <p>受付時間：朝9時～夕方6時（土日祝対応）</p>	<p>石川県コールセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0120-266-755 <p>受付時間：朝9時～夕方6時（土日祝対応）</p> <p>※避難所等ですでに2次避難希望者名簿に氏名等を記載された方は、珠洲市でその希望を把握していますので、石川県コールセンターへの問合せは不要です。<u>ただし、出発前の最終確認の際にキャンセルした方で、再度2次避難を希望する方は、コールセンターへの申し込みが必要です。</u></p>

支援ナースの住環境



トイレ



寝る

入浴 なし



暖房

手洗い



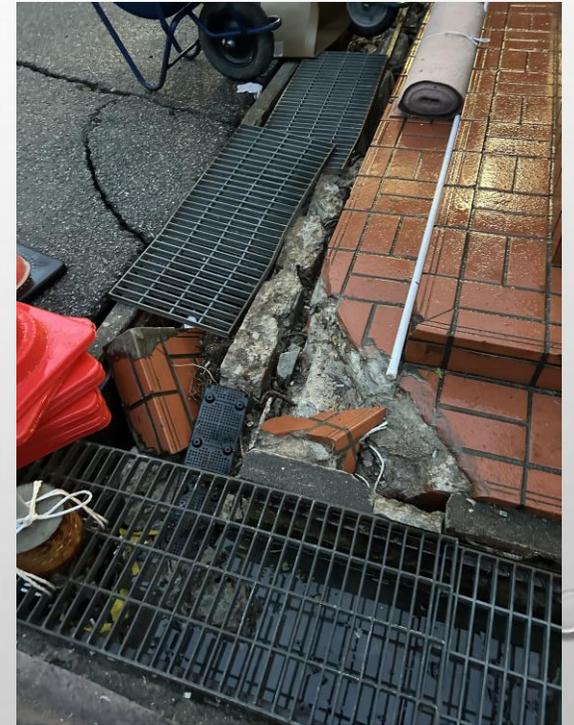
避難所でのトラブル

トイレ問題



後発隊への申し送り

- 避難者用屋内トイレ使用再開の依頼
- 体操の継続
- 要観察者の観察継続



最終日



災害支援ナース研修受講動機

- 2022年9月 新潟県協会主催の災害支援ナースをZOOMで受講。登録
- 動機: 2003年10月23日の中越地震を経験

整形病棟の準夜リーダーで47名の入院患者を避難用スロープで避難させる。

新規入院4名。帰宅は翌朝6時。家族は市内中学校体育館へ避難。

全患者近隣病院へ転院または退院させ、病院は一時休止。

10月26日～11月30日 近隣病院へ助勤。

避難所生活はライフラインが復旧するまでの1週間。

災害支援ナース?(日赤?)が避難所で活動していたおかげで自分は休めた・・・

という感謝の思いで、自分も看護師生活中に恩返し出来たら・・・

活動を終えて

- 支援に行くには、まずは職場と家族の理解が必要
- 被災地で頑張っている職員（行政、病院等）自身が被災者であり、支援者支援が重要
- フェーズに合わせた支援が必要
- 依頼を受けたことは可能な範囲です
- 日本全国、助け合いの気持ちが醸成されつつある
- 日頃から災害時の備蓄と気持ちの準備が大切
- 血圧計や体温計などグッズを入れるウェストポーチがあるといいなあ

早く送り出してくださった看護部長はじめ、看護部の皆様、準備をしてくださった新潟県看護協会の皆様、ともに頑張ったメンバーに感謝いたします。



ご清聴ありがとうございました